

情報公開

倫理第 1094 号

「X 線撮影・透視と CT 撮影での患者被ばく時の臓器線量の推定」

研究の概要と目的：

X 線撮影検査、透視検査、CT 検査などの様々な放射線画像検査によって有益な診断情報が得られる反面、放射線被ばくは避けることのできない問題です。また、実際の検査で受けた個人の被ばく線量には指標がありますが、個人の被ばく線量を直接測定することは困難となっています。そこで、個人の被ばく線量を把握できるシステムを開発することを本研究の目的として、モンテカルロシミュレーション法を用いた被ばく線量解析システムを確立するための基礎的研究を行います。

本研究の対象：

本研究の対象者は、2013 年～2019 年に当院で X 線撮影検査、透視検査、CT 検査の放射線画像検査、画像誘導下血管内治療(IVR)を受けられた患者様です。

意義：

将来的に被ばく線量解析システムが開発されれば、患者様の正確な臓器ごとの被ばく線量の把握と管理が可能になります。また、さらなる医療被ばくの低減を実現するために、手法や装置の開発に繋げていくことが期待されます。

方法：

診断・治療目的で撮影された X 線撮影検査、透視検査、CT 検査の各画像データと、検査ごとに得られる線量情報を後向き（retrospective）に収集し、モンテカルロ法を用いて線量解析を行います。

研究機関：

熊本大学医学部附属病院中央放射線部

本研究への参加と個人情報の保護：

本研究への参加を拒否されても何ら不利益は生じません。本研究に参加することで特別な謝礼などの資金援助はありません。また、患者様に費用の負担もありません。研究に使用する患者様の情報は中央放射線部で厳重に保管し、患者様のプライバシーの保護、人権保護には最善を尽くします。学会や論文発表は個人情報を匿名化して行われますので、個人情報が漏えいすることはありません。

2016 年～2028 年に当院で放射線画像検査、画像誘導下血管内治療(IVR)を受けられた患

者様で、臨床情報を研究対象として使用することに同意できない方は、中央放射線部（下記）にお知らせください。

問い合わせなどの連絡先：熊本大学病院 中央放射線部 担当：坂部 大介

平日（9：00～17：00） 096-373-5746（技師室）